

240グループの活動も満25年

JJ1SXA 池

240グループの活動も歴史を重ね、来年の1月16日で、満25年、今年の忘年会は第25回です、私も長い期間一緒に歳を重ねさせてもらったものだと、今更の如く変に得心していますが、ここで総括を試み、思いつくまま書いてみます。

まずは、240のキーワード「より強く、より遠く」というのは、何時も言っている事なのですが、リグを最良に整備、アンテナをきちんと調整、電源はライン共々しっかり設備、誰にも負けないモービルシャックから遠距離交信達成のため、この合言葉を実践しようというのが本来の主旨です、アンテナ調整その他を怠って、免許の範囲外のオーバーパワーに頼ったりするのは、本来の主旨では無いことを知って下さい。

「紳士的な運用」ということは、常に紳士的であれということ年頭に置き、常識外の言動をしない、それは無線で話す時は当然ながら、ミーティングの時、個人的なアイボールの時、また記事にする場合、その他あらゆる場面で大事なことです。

ブレイクタイムを空ける、サブ周波数に **QSY** する、モービル局を優先、然も遠いモービル局が最優先とか、定時ワッチとかは、余り忘れてもらいたくない事ですし、合議制という事もグループの永続きの要因であることを知ってもらいたいと思います。

前にも書きましたが、「ローマは一日にしてならず」です、いろいろの事があっても、その都度皆さんの努力で解決して、現在の240があるということを心にとどめてもらいたく、聞き飽きたかも知れない話ですが、いつまでも240が健在であるように願う気持ちの発露からの発言です、然し、過去にしがみついてばかりではいけません、より良くしていくための方策は常に考えるべきでしょう、その場合、過去の歴史や、いきさつや、永年かけて築いた約束事、了解事項を理解し、それらを継承する事を前提に、現状と将来について総合的に考えて下さいというのが私の変わらぬお願いの主旨です。

アマチュア無線は趣味であり、趣味であれば自分が楽しまなければ意味がありません、反面、趣味で有るが故に守るべきことも多々ありますし、多岐多様に広がったアマチュア無線の世界を理解し、理解した中で自分に合う範囲を選択すれば良いわけですが、ややもすると理解が足り無いというか、知識が乏しいことを忘れて、自分流の常識で、他局のやっていることを批判したりする事も多々あるようです。

自分流の常識は、結構間違っていることも多いので、気をつけなければいけないと思いますし、時代の流れというものもあります、時流に逆らわず、さりとして流されず、こだわりのスタイルを貫くというのも一つの方法です、ただその時に自分の常識に大きな間違いがあってはいけないと思います。

私のささやかなこだわりは、メインは **50MHz CW**、コンテスト参加も **JCC・G** を追いかけるのも全て **50MHz CW** で、**SSB** の運用は勿論 **240** がメイン、和文 **CW** は **7MHz**、**DX** は **21 MHz CW** と決めてやってきましたが、最近では **240** での、**SSB** 運用

と**50MHz CW**でのコンテスト参加に形をとどめるのみ、他のことからは大分遠ざかり、和文**CW**の腕はすっかり錆付いて、**QSO**もままならず、**DX**も、プリフィックスを聞いて何処だ何処だと考える始末、こだわりも何も無くなり困ったものです。

その代りに、生きた化石にならないようにと取り組んでみたのは、**VoIP** 無線ですが、こちらも**60**歳を過ぎてから初めてマウスに触った身、分からないことが多いです。

私も最初は、無線にインターネットを使うのは邪道だと思っていましたが、少し違いました、今でも、そのように思っている局も多いようです、インターネットの情報に基づいてやる**DX**は、**DX**などとはおこがましい、投げた釣針に、あらかじめ潜って待機しているダイバーが魚を引っ掛けてくれるようなものという人もいます、私もそれには同感ですが、インターネットを使うということを、それだけの解釈では一寸違うと思います、**Wires**や**eQSO**もそうですが、リモートシャックとなれば、リグ・アンテナからオペレーターが離れた所にいるだけで、普通の運用をします(色々なバリエーションはありますが・・・)、インターネットを情報取得に利用するだけのものと、無線にインターネットを融合させた**VoIP**無線等を混同したり、同一視するのは大きな間違いだと思います。

Wires等**VoIP**無線の信号を聞いて、他エリアの局が、Eスポが開いていないのにメリット5、俺のモービルのアンテナはすごいなどと自慢したり、インターネット経由での**QSO**ですと聞かされても、私の信号は**S**どのくらいでいってますか?と聞いたりする、知らないままでの誤解で一寸恥ずかしい話?が現実にあります、240の皆さんが、そんな話をしないように理解を深めてもらいたいと思い、今年の技術講習会の時にも少し話したのですが、欠かせない用事のあった局は別にして、話の途中で中座して雑談に行った局や、さっさと帰った局もいたような気がします、確かに無線にインターネットと聞いただけで俺には関係ねーやと思うのも結構ですが、私の話は、概略を説明した後に、240の運用に役立つ面は無いか、利用方法はこんな事が考えられるというような内容で、もう少し、まじめに聞いてもらいたい話と思っていたのですが・・・。

興味は無くても、240の運用に関する一部としての捉え方、恥ずかしい発言をしないよう知識習得の一環として聞く、そういう態度を求めたのですが、一寸不心得な態度では無いかと感じました、私のわがままかも知れませんが、思い違いかも知れませんが、或いは進行方法が悪かっただけ、話が下手だっただけなのかも知れませんが・・・

ともあれ、物事は多面的にとらえる、知識を増やして間違った自分流の常識を改める等々、色々の機会でそういう姿勢は必要では無いでしょうか。

240の歴史は満25年、この間、レピーター許可、コールサイン再割り当て、相互運用協定、フォーンパッチ許可、ゲストオペ制度、免許出力引き上げ、**CW**試験の廃止・簡略化、一括記載コードの採用、免許情報公開、遠隔操作許可その他諸々、アマチュア無線の世界も随分変化・進化があり、まだまだ変わるでしょうが、240の皆さんは、ちゃんと適応し、且つ軸足をぶれさせず、しっかり対処していきましょう。